

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム ひだまり

作成日：平成 29年 5月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (1)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりが生活を楽しみ「私らしく生きる」支援をするため、ご利用者様の主体性を大切にする	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個々の思いを汲み取る(センター方式の活用) ひもときシートによる課題の整理と普段の生活のどこに「私らしく」が失われているかを見つける ひもときシートの課題を職員全員で共有し、課題解決に向けた支援のあり方を話し合う ケアプランに基づいた固定されていないケアの実践 ケアプランに反映させ基づいた支援を継続させる 	12 か月
2	1 (1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	研修や実践において認知症の理解を深め、理念に沿った支援の継続を図る	<ul style="list-style-type: none"> 研修を通して認知症介護に関する理解と知識を深める 各研修会の講師を職員全員が務めることで、すべての業務に理念がリンクしていると意識付ける 	通年
3	33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者様、ご家族がここで暮らしてよかったと思える支援を心掛ける	<ul style="list-style-type: none"> 終末期における介護についての関連研修実施 毎モニタリングの際ご利用者様、ご家族の意向を丁寧に傾聴し、理解する 日々変わる身体状況に対応できるよう、主治医等への報告相談をご家族とともにを行う 	12 か月